

ひまわり通信

№ 1 2 平成 2 0 年 1 2 月 2 2 日
新潟市立東青山小学校
校長 斎川 英子
児童数 610人
(231)9611 fax(231)9623



<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

「あたりまえ」のことに感謝して

「今日、おばあちゃんが退院するんだよ。嬉しい。」と、登校するなりかけ寄ってきたMさんの顔は喜びにあふれていました。そして、おばあちゃんが入院してから家に帰ってもさびしかったこと、今までおやつを用意して待っていてくれたのは当たり前のことだと思っていたけれどそうではなかったことなど、切々と語ってくれたことを思い出しました。

その話を聞き、私は、井村和清さんの詩「あたりまえ」を思い出していました。

最近、子どもをめぐる悲惨な事件が次々と起こり胸が痛みます。当たり前のことが、当たり前でなくなることがあまりにも多すぎます。この詩の最後にあるように、失った人でないと本当のありがたさというものは分からないかもしれません。

私たちは、自分の家族、友達、豊富な食べ物、みんな「あたりまえ」のこととじています。改めて、「あたりまえ」のことが本当に当たり前なのかを考え、「あたりまえ」のことに感謝の気持ちを抱くのは意義深いことだと思います。

今日は、2008年の最後の全校朝会でした。

610名の子どもたちは、大きな怪我や事故もなく、仲良く、健康で、学習したことをしっかり身に付けて、無事に終えることができました。様々なことが起きている昨今、これは決して「あたりまえ」のこととは思いません。多くの皆様方から、たくさんの知恵と力と心を東青山小学校にお寄せいただいたお陰です。心から感謝いたしております。ありがとうございました。

熊倉用務員さんありがとうございました

4月から非常勤の用務員としてお勤めいただいた熊倉國雄さんが、本日でご退任です。本当にお世話になりました。

あたりまえ
こんなすばらしいことを
みんなは
なぜ、よろこばないのでしょうか
(中略)
食事が食べられる
夜になるとちゃんと眠れ、
そして又朝がくる
空気をむねいっばいする
笑える泣ける 叫ぶこともできる
走りまわれる
こんなすばらしいことを、
みんなは決してよろこばない
そのありがたさを知っているのは、
それを失くした人たちだけ
なぜでしょう
あたりまえ
(井村和清作)

努力をたたえて おめでとう

新潟県器楽合奏大会

特別賞(新潟放送社賞)・・・器楽部

新潟県課題図書読書感想文コンクール

優良賞 1年 石月 美風

3年 川崎 真優

佳作賞 3年 大須賀 美由

新潟県ジュニア美術展覧会

優秀賞 1年 小野 詩織

2年 米田 航将

奨励賞 1年 横木 久瑠実

2年 相澤 健太郎

笹野 未有

青柳 侑汰

田中 歩佳

3年 小林 怜波

鈴木 莉奈

5年 小湊 彩佳

6年 石崎 雄貴

岡地 麻華

小林 炎

